

# 「死の商人国家」ノー

## 国会内 武器輸出反対の集会

武器輸出のルール見直しに関する与党実務者協議が毎週開催されている中、宗教者や市民団体が7日、国会内で集会を開き、「『死の商人国家』に墮落させてはならない」と訴えました。主催は「平和をつくり出す宗教者ネットワーク」です。「基地のない沖縄をめざす宗教者のつどい」との共催。

武器取引反対ネットワーク（NAJAT）代表の杉原浩司さんが「殺傷武器輸出解禁の与党実務者協議」について講演。日本・英国・イタリア3カ国で共同開発する次期戦闘機について、実務者協議では日本による第三国輸出を容認しているとし、「国会での議論を抜きに密室での協議で年内にも殺傷兵器の輸

出解禁が行われようとしている」と指摘しました。

イスラエルの軍事企業と日本の商社が提携し、武器を販売促進しようとする動きがあることにも言及。「利権がからんだ癒着によって、日本政府もイスラエルによる虐殺を批判できない。『死の商人国家』に墮落させないためにも、市民の側か

宗教者や市民団体が「死の商人国家」に墮落させてはならない」と訴えた集会  
7日、国会内



ら『平和の準備を』と声を上げることが大事だ」と話しました。

日本共産党の赤嶺政賢衆院議員があいさつ

しました。